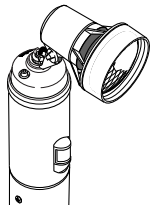
自然が未来
東洋エクステリア

セキュリティ ライト　取扱説明書

防犯スポットライト（SSP－2型）

UZ135



品　名	灯　具	適合ポール
SSP-2型	VBW07	LYV20

お願い　使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意…… 2
お手入れについて…… 2
ランプを交換する…… 2
この器具の3つの使い方について …… 3
・防犯すぐモード
・防犯設定時間後モード
・ON／OFFモード
人の検知範囲について…… 4
本体カバーをはずす…… 4
照射方向を設定する…… 4
防犯すぐモードの設定…… 5
防犯設定時間後モードの設定 …… 6
ON／OFFモード設定…… 7
保証とアフターサービス…… 7
故障かな？と思ったら…… 8
仕様 …… 8

お買い上げありがとうございます。

■ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管し、必要なときお読みください。

注）この商品は人を検知して、フラッシングで人を威かくする機能を持っていますが、侵入、盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

この器具はご使用の環境に合わせて、検知範囲、点灯保持時間などを調整する必要があります。
ご使用前に説明書をよくお読みのうえ調整してください。
（☞ 3ページ「この器具の３つの使い方について」、☞ 4ページ「人の検知範囲について」を参照してください。）

工事店様へ　この説明書は必ずお客様にお渡しください。

この紙は再生紙を使用しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

器具を改造したり部品交換をしない

分解禁止

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

ランプは器具表示のものを使用する

必ず守る

間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。

異常を感じた場合速やかに電源を切る

必ず守る

異常状態が収まったことを確認し、工事店、電器店、または別紙ご相談センターにご相談ください。

器具と被照射面は50cm以上はなす

必ず守る

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

点灯中や消灯直後のランプにさわらない

接触禁止

ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因になります。

器具の取りはずしは工事店、電器店に依頼する

必ず守る

守らないと感電の原因となります。

ランプ交換、お手入れの際は、壁スイッチをオフにする

必ず守る

通電状態で行うと感電の原因となります。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

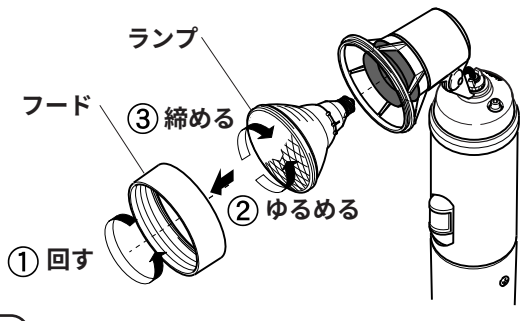
- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヵ月に1回程度）に清掃、点検してください。
  汚れがひどい場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- 検知部（☞ 4ページ）が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的（6ヵ月に1回程度）にやわらかい布で清掃してください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損・劣化の原因となります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

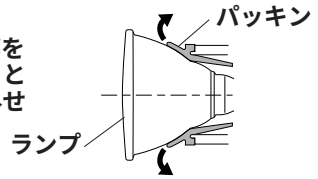
●器具に表示されたランプをお求めください。
間違った種類・ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。

1 フードを外しランプを交換する

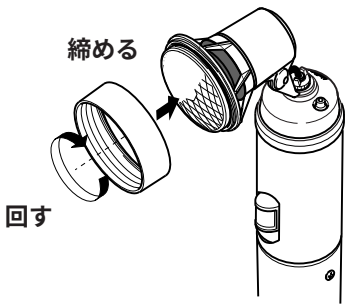


メモ

・パッキンのランプ接触部を少し、めくるようにすると比較的簡単にランプが外せます。



2 ランプの締め付けを確認して、フードを締め付ける



⚠注意 取り付けは確実に行ってください。
感電・落下によるけがの原因となります。

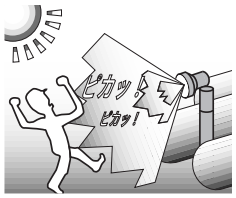
この器具の 3つの使い方について

この照明器具は､使用用途に合わせて「防犯すぐモード」「防犯設定時間後モード」「ON/OFF モード」の３つの使い方を選ぶことができます。
●この器具は、壁スイッチをＯＮにしたままお使いください。

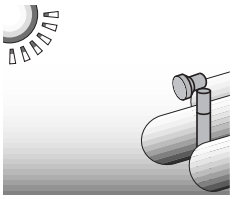
防犯すぐモード

人が近づくとすぐにフラッシングします。
●普段家族があまり通らない､暗がりや家の死角の防犯におすすめ　（調整方法は☞５ページ）

周囲が明るい場合（昼間）

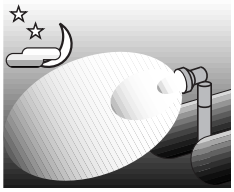


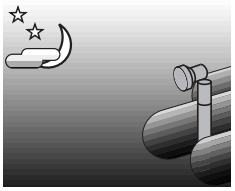
人が近づくとすぐに
フラッシング


フラッシング後、消灯

周囲が暗い場合（夜間）

人が近づくとすぐに
フラッシング

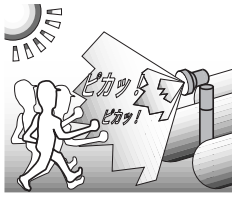

フラッシング後、点灯


人が離れると消灯

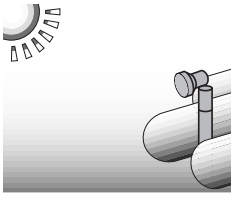
防犯設定時間後モード

家族が通る場合を考慮し､フラッシング開始までの時間を 10秒後または 30秒後に設定できます。
●家族の行き来が頻繁な勝手口などの防犯におすすめ　（調整方法は☞６ページ）

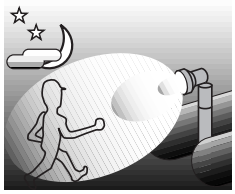
周囲が明るい場合（昼間）



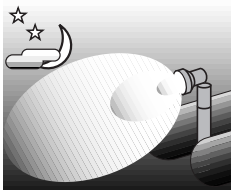
10秒間、または 30秒間
器具の近くで人が動き
続けるとフラッシング

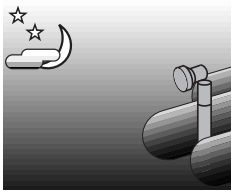

フラシング後、消灯

周囲が暗い場合（夜間）


人が近づくと点灯

10秒間、または 30秒間
器具の近くで人が動き
続けるとフラッシング

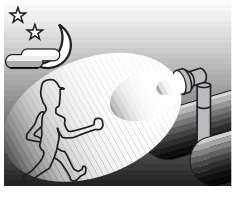

フラッシング後、点灯


人が離れると消灯

ON／OFF モード

フラッシングさせず、人が近づくと点灯、いなくなると消灯します。
●普段の生活のあかりとして使用される場合におすすめ　（調整方法は☞７ページ）

●周囲が明るい場合（昼間）は点灯しません

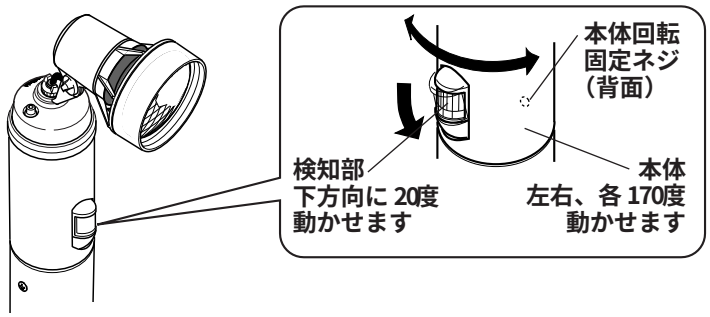

人が近づくと点灯

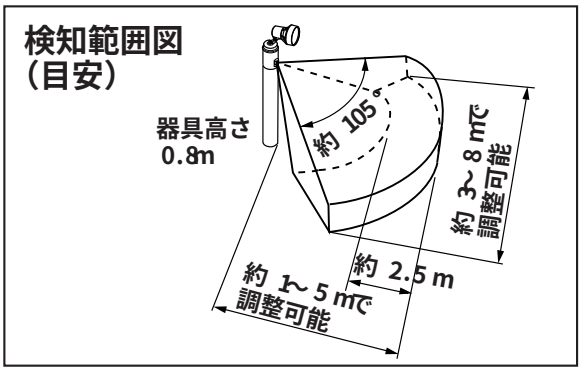
人が離れると消灯

●１回のフラッシング時間は約 10秒間（固定）です。
●「防犯すぐモード」または「防犯設定時間後モード」の場合、周囲の明るさに関係なく昼間でもフラッシングします。

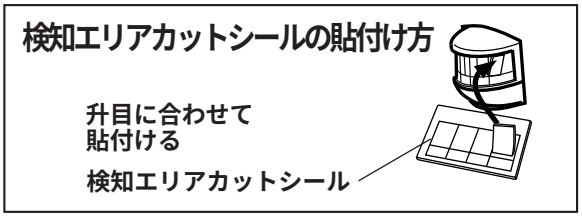
人の検知範囲について

この器具は、人が近づいたことを検知してランプを点灯させます。
検知部を動かすことにより検知範囲を調整できますので、お好みに合わせて調節してください。





- 本体背面の固定ネジをゆるめ、本体を回転させることによって検知範囲を変えることができます。
- 検知範囲は右図のような範囲です。
- 検知部を下方に可動させることにより、検知範囲を段階的に調整することができます。
- 不要な検知範囲の調整は、同梱の検知エリアカットシールを検知部に貼付けて行ってください。



メモ

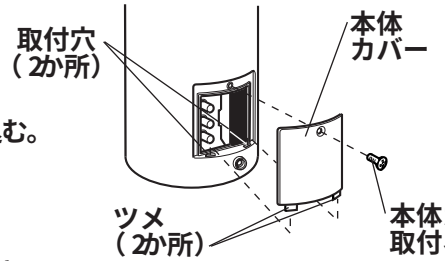
- 検知部は検知範囲内の温度変化量を検知するため、人以外の熱源（動物、車など）が移動したときも検知する場合があります。
- 検知範囲は目安です。気温、服装、人の移動速度、進入方向、人の温度、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより変化します。
- 夏場など気温が体温に近い温度になると、温度変化分が小さくなり、検知範囲は小さくなります。 また雨の 日も 検知範囲が小さくなる場合があります。
- 検知範囲の外側でも、人より大きな熱源などが移動した場合、検知する場合があります。
- 器具に向かってまっすぐに接近した場合、より近づかないと検知しません。

本体カバーをはずす

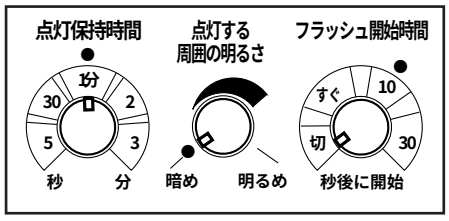
設定や調整（P.5～7）には本体カバーを外す必要があります。

●外し方
1本体カバー取付ネジを外す
2本体カバーを外す

●取付け方
1ツメ（2か所）を本体の取付穴に差し込む。
2本体カバー取付ネジを締め付ける



調整ツマミ部



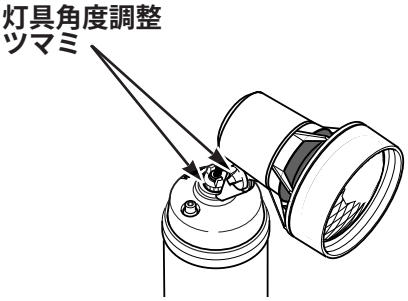
⚠ 注意

- 本体カバーは必ず取付けて使用してください。
  本体カバーを外したままで使用すると水が侵入し、感電・故障の原因となります。

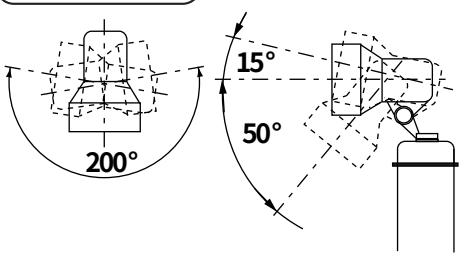
照射方向を設定する

この器具は、ランプの照射方向を設定できますので、お好みに合わせて調整してください。

1灯具角度調整ツマミをゆるめる。
2照射方向にむける。
3灯具角度調整ツマミを締付ける。

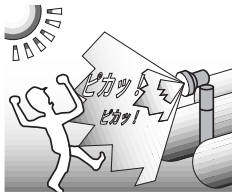
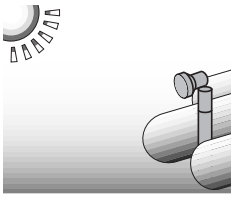
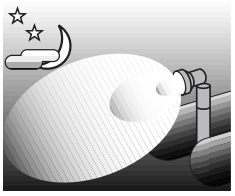
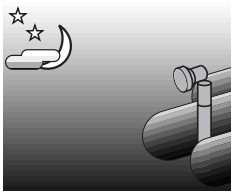


調整可能範囲



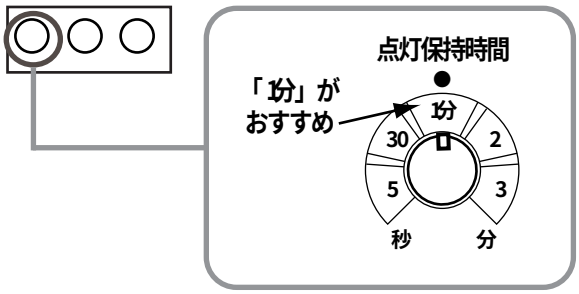
防犯すぐモードの設定

「防犯すぐモード」は、人が近づくとすぐにフラッシングします。
普段家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯用として使用される場合、おすすめです。

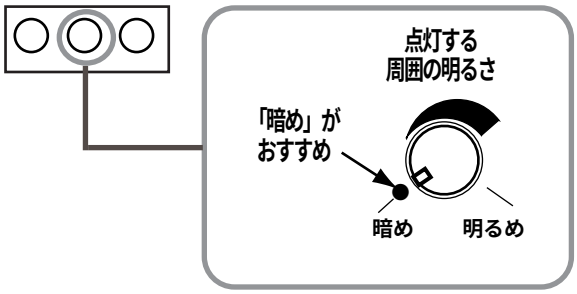
周囲が明るい場合（昼間）	 人が近づくとすぐにフラッシング（約10秒間）	 フラッシング後、消灯
周囲が暗い場合（夜間）	人が近づくとすぐにフラッシング（約10秒間）	 フラッシング後、点灯  人が離れると消灯

1 壁スイッチをＯＦＦにして、本体カバーをはずしてください。（☞4ページ）

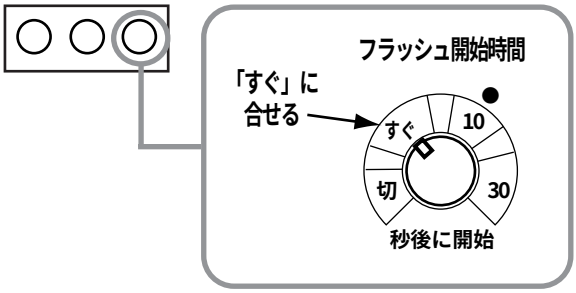
2 点灯保持時間ツマミで、人が検知範囲から離れてから消灯するまでの時間を設定する



3 点灯する周囲の明るさツマミで、昼間の動作から夜間の動作に切り替わるときの周囲の明るさを設定する



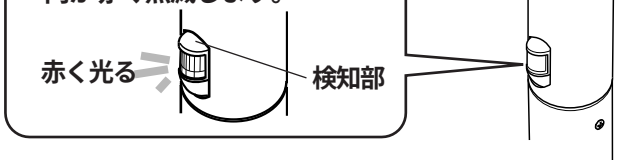
4 フラッシュ開始時間ツマミを「すぐ」に設定する



5 本体カバーを取付ける

6 壁スイッチをONにする

●防犯すぐモードに設定した場合、人を検知するたびに検知部内が赤く点滅します。



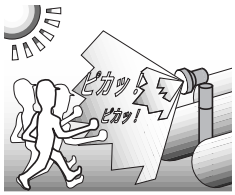
メモ

・壁スイッチ（電源）をＯＮした直後の約40秒間は、設定に関係なくランプが点灯します。

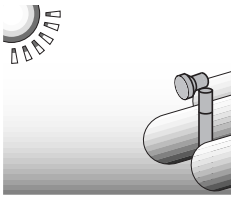
防犯設定時間後モードの設定

「防犯設定時間後モード」は、家族が通る場合を考慮し、フラッシング開始までの時間を 10秒後または 30秒後に設定できます。家族の行き来が頻繁な勝手口などの防犯用として使用される場合、おすすめです。

周囲が明るい場合（昼間）

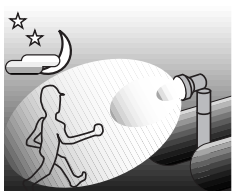


10秒間、または 30秒間、器具の近くで人が動き続けるとフラッシング（約 10秒間）



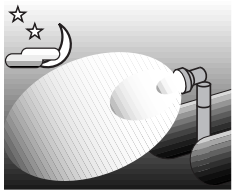
フラッシング後、消灯

周囲が暗い場合（夜間）

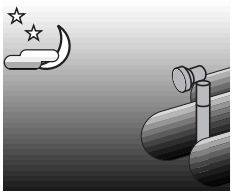


人が近づくと点灯

10秒間、または 30秒間、器具の近くで人が動き続けるとフラッシング（約 10秒間）



フラッシング後、点灯

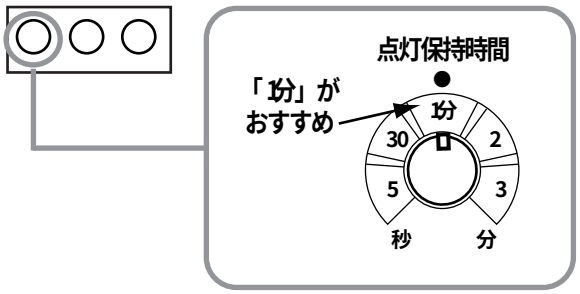


人が離れると消灯

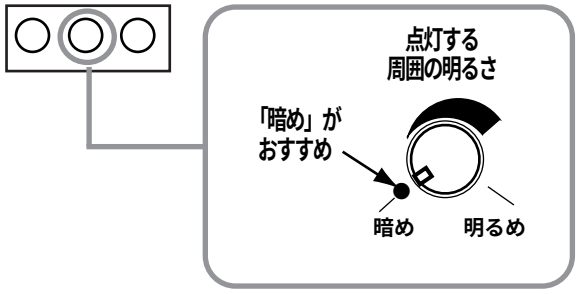
注意：検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままでいる場合にはフラッシングを開始しません。

1 壁スイッチをＯＦＦにして、本体カバーを外してください。（☞４ページ）

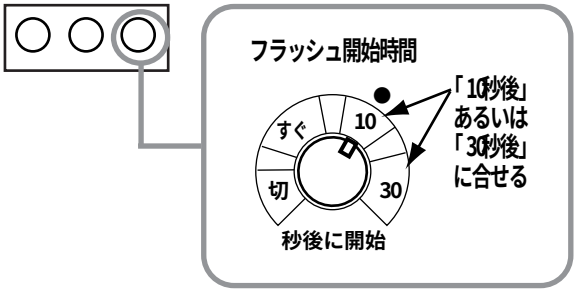
2 点灯保持時間ツマミで、人が検知範囲から離れてから消灯するまでの時間を設定する



3 点灯する周囲の明るさツマミで、昼間の動作から夜間の動作に切り替わるときの周囲の明るさを設定する



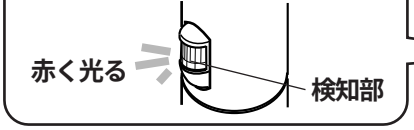
4 フラッシュ開始時間ツマミで検知範囲内に人が入ってからフラッシングを開始するまでの時間を設定する

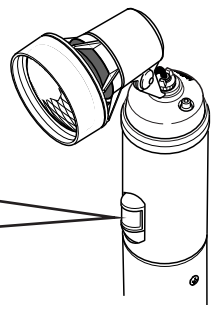


5 本体カバーを取付ける

6 壁スイッチをONにする

●防犯設定時間後モードに設定した場合、人を検知するたびに検知部内が赤く点滅します。





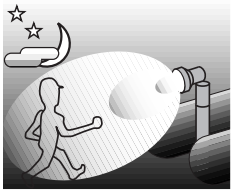
メモ

・壁スイッチ（電源）をＯＮした直後の約 40秒間は、設定に関係なくランプが点灯します。

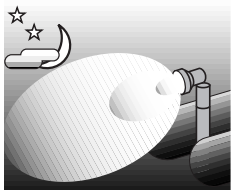
ＯＮ／ＯＦＦモードの設定

ＯＮ／ＯＦＦモードは、フラッシングさせず人が近づくと点灯、いなくなると消灯します。
普段の生活のあかりとして使用される場合、おすすめです。

●周囲が明るい場合（昼間）は点灯しません



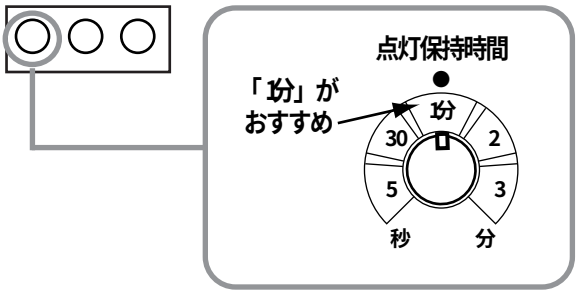
暗くなって人が近づくと、点灯



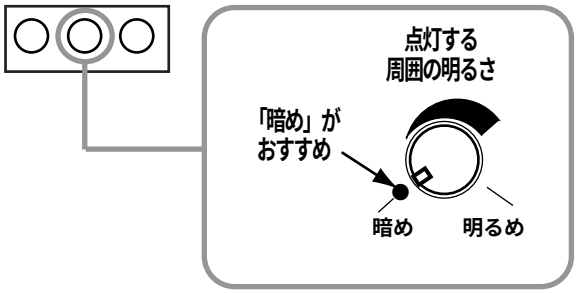
人が離れると消灯

1 壁スイッチをＯＦＦにして、本体カバーを外してください。（☞４ページ）

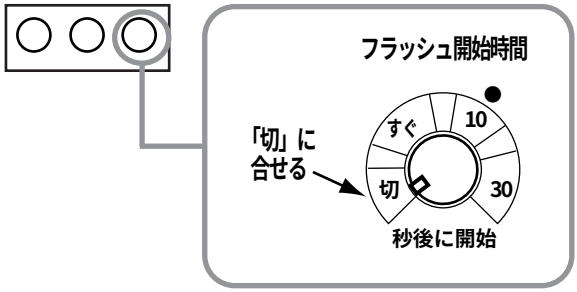
2 点灯保持時間ツマミで、人が検知範囲から離れてから消灯するまでの時間を設定する



3 点灯する周囲の明るさツマミで、器具が点灯するときの周囲の明るさを設定する



4 フラッシュ開始時間ツマミを「切」に設定する



5 本体カバーを取付ける

6 壁スイッチをONにする

メモ

・壁スイッチ（電源）をＯＮした直後の約40秒間は、設定に関係なくランプが点灯します。

故障かな？と思ったら（下表にしたがって点検してください）

●異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。
●正常に戻らない場合は壁スイッチをＯＦＦにして（５秒以上）再びＯＮにしてください。
●壁スイッチは通常は必ず昼間でもＯＮのままにしておいてください。

現　象	考えられる原因	処　置
人を検知しているのに点灯しない	壁スイッチ（電源）がOFFになっている	壁スイッチ（電源）をONにする
	ランプが切れている	ランプを交換する（☞2ページ）
	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」側(右方向)に少し回す
	人が静止している	静止している人は検知できません
人を検知する範囲が狭い	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する（検知部を動かす）（☞4ページ）
	検知部が汚れていたり蒸気などの水滴がついている	検知部をやわらかい布で傷がつかないようふく
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません（☞4ページ）
検知範囲に人がいないのにフラッシングまたは点灯している	検知範囲内に人以外の熱源がある (例) 白熱灯照明器具、エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの（植木、洗濯物など)、車の熱やヘッドライト、犬や猫などの動物、強い風、雨、雷　など	本センサは温度変化を検知するため、左記の要因で検知範囲内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります（故障ではありません）
	壁スイッチ(電源)をONした直後または停電が回復した直後である（検知暗防赤く点滅	壁スイッチ（電源）がON後、約40秒間は必ず点灯します
周囲が明るいのに点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」側（左方向）に回す
	「防犯すぐモード」または「防犯設定時間後モード」になっている （フラッシュ開始時間ツマミが「切」以外になっている）	「防犯すぐモード」または「防犯設定時間後モード」になっている場合は、周囲が明るくてもフラッシングします
フラッシングさせたいのにフラッシングしない	●人が近づいても100%点灯しかしない場合→「ON/OFF モード」になっている （フラッシュ開始時間ツマミが「切」に なっている）	「防犯すぐモード」または「防犯設定時間後モード」に設定する（　☞5、6ページ）
	●「防犯設定時間後モード」で、設定時間を過ぎてもフラッシングしない場合 →人が静止している、または検知範囲内をすばやく通り過ぎた	人が静止していたり、検知範囲内をすばやく通り過ぎた場合には、設定時間を過ぎてもフラッシングしません
	一度フラッシングした場合、その後に検知範囲内で人が動き続けても、再度フラッシングしない仕様となっている	フラッシングした後に、点灯保持時間分だけ検知範囲外に出る（その後に、設定した時間だけ検知範囲内で人が 動き続けると、再びフラッシングを開始します）
フラッシングさせたくないのにフラッシングしてしまう ＊フラッシングは周囲の明るさに関係なく昼間でも動作します。	「防犯すぐモード」または「防犯設定時間後モード」になっている （フラッシュ開始時間ツマミが「切」以外に なっている）	●人が近づいた時にフラッシングではなく100% 点灯させたい場合→ 「ON/OFF モード」に設定する （☞7ページ）

上記の点検でなお異常がある場合は、ただちに電源を切り、工事店、電器店にご相談ください。

仕様

使用電圧	消費電力	付属ランプ
AC100V	80.6W （センサ待機時 0.17W）	100形（80W）ハイビーム電球 （散光形・100V用・E26）

取説コード
UZ135

200304A

東洋エクステリア株式会社